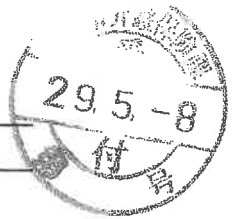


(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホームオハナ

作成日：平成 29 年 5 月 8 日



目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	朝礼の際、理念を唱和しているが、職員間でどの様に共有できているのか明確ではない。また、意識が薄れていくことがある。	職員間の意見の相違やケアの方針を話し合う際、理念に沿った方向性が導き出せる。	理念を法人理念に1本化することで、方向性が明確になる。また、理念の言葉だけでなく、意味を理解できるように職員会議などで勉強を行う。また、理念に沿って話し合いを行う。	12ヶ月
2	26	ケアプランに沿った情報の共有が出来ていない。また、日々の介護記録が周知されていない。	職員間で情報の共通が密に行え、ケアや意識の統一が出来る。	各ユニット毎に連絡ノートと気づきノートを備えて、情報の共有が出来るようにする。介護記録マニュアル等を作成する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。